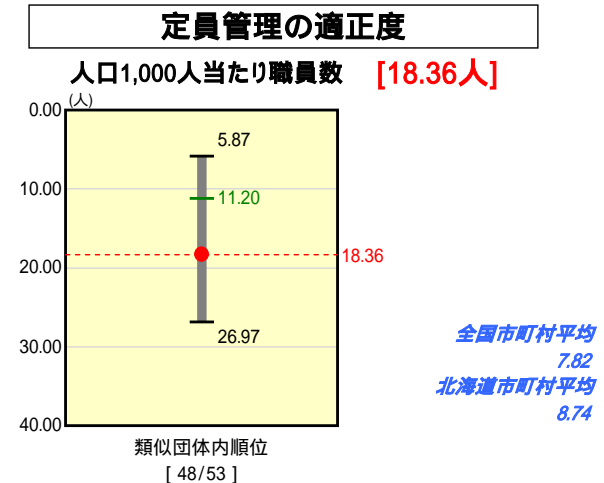
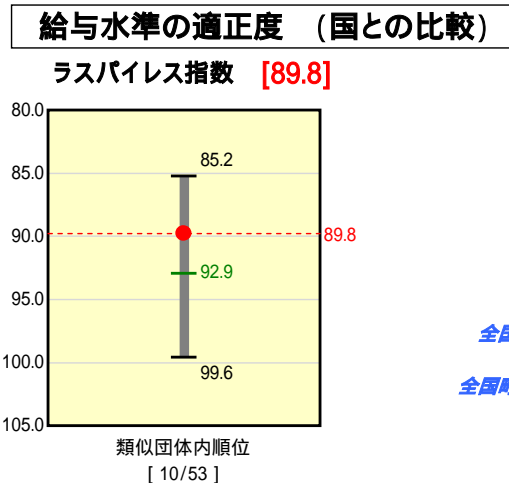
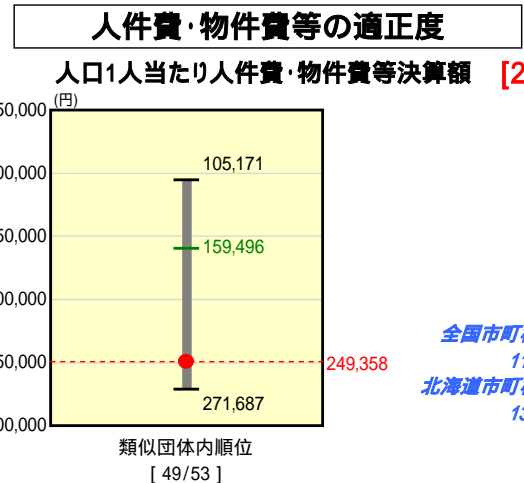
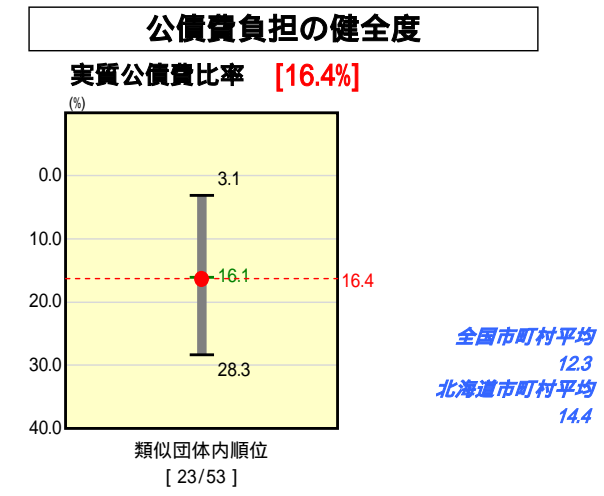
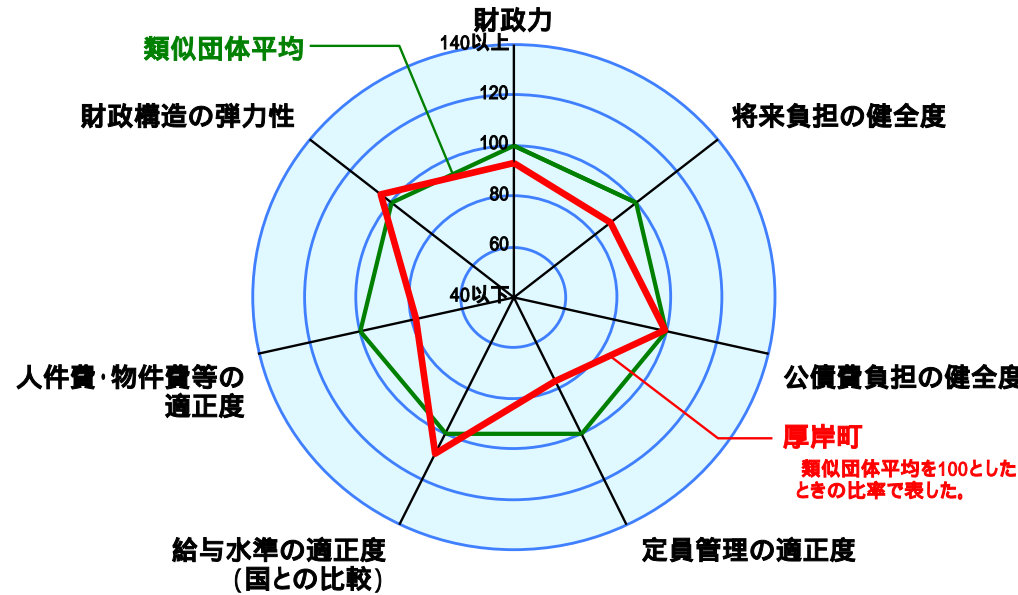
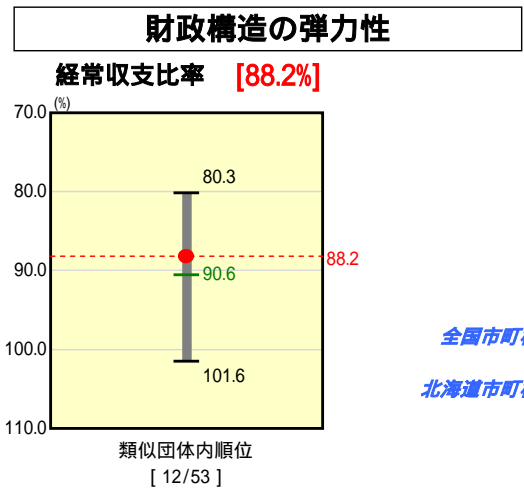
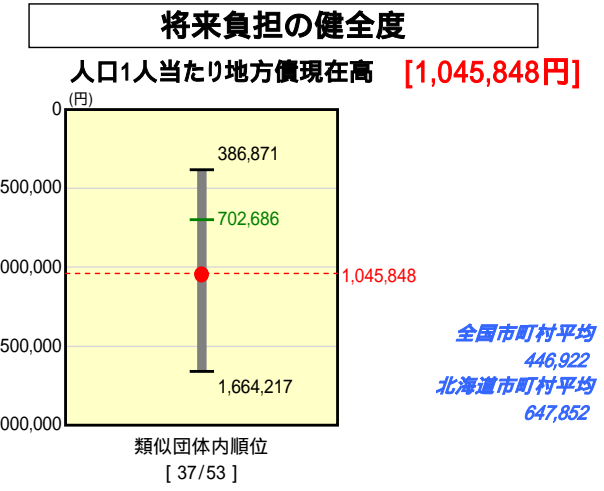
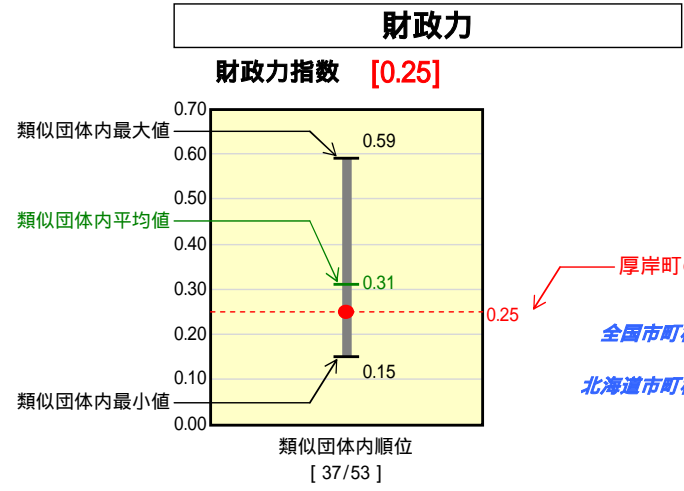


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 北海道 厚岸町

人口	11,219人	(H20.3.31現在)
面積	739.07	km <sup>2</sup>
歳入総額	8,396,728	千円
歳出総額	8,185,980	千円
実質収支	210,746	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数** : 長引く景気低迷による減収などから0.25と類似団体平均を下まわっているため、退職者不補充等による職員数の削減による人件費の削減、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、税収の徴収率向上対策を中心とする歳入確保に努める。

**経常収支比率** : 退職者不補充による人件費の削減、事業別予算導入による全ての事務事業を点検し、経常経費削減を図ったこと等により88.2%と類似団体平均を下まわっている。今後とも、事務事業の見直しをさらに進めるとともに、全ての事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業について計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減を図る。

**ラスバイレス指数** : 17年度から職員の給与カット(管理職・一般職ともに8%)及び各種手当見直しの実施により、類似団体の中では最低水準にある。今後もより一層の給与の適正化に努める。

**人口1人当たり地方債現在高** : 近年、大型の整備事業(真龍小学校改築事業)を実施し、新規の地方債が発行されたため類似団体の平均を大きく上回っている。このことから他事業における地方債の発行の抑制等により類似団体平均を上回ることに努める。

**実質公債費比率** : 普通建設事業債に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均を上回っている。14年度から実施している厚岸町財政運営基本方針に則り、投資事業を抑制してきたことから、元利償還金の増加は抑えられ、平成16年度をピークに減少に転じており、今後とも新規発行の抑制に努めていく。

**人口1,000人当たり職員数** : 平成16年4月1日から平成21年4月1日までの定員について、1割以上の削減を目標とし、平成22年4月1日時点で合計294人以下を目指し職員削減に努める。

**人口1,000人当たり人件費・物件費** : 人件費、物件費及び維持補修費の合計額が類似団体平均を大きく上回っているのは、主に人件費が要因となっている。今後は厚岸町定員適正化計画に基づく職員削減によりコストの低減を図っていく方針である。